

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	26220804	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	フラッシュケミストリーの深化と新展開	研究代表者 (所属・職) (平成29年3月現在)	吉田 潤一 (京都大学・大学院工学研究科・教授)

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究で当初掲げられた研究課題については、期待通りの成果が上がっている。具体的には、短寿命種のインライン分析法として、フーリエ変換赤外分光光度計（FT-IR）による分析法を確立し、温度一滞留時間マッピング解析に基づく定量的反応設計としては、ハロゲン-リチウム交換反応の詳細な速度解析により、ベンザイン形成反応を制御し、3成分カップリング反応を達成した。また、Fries転位の前後それぞれの陰イオンの選択的なトラップにも成功した。さらに、これらの精密制御は、不均一系触媒にも効果的に展開されているなど、総じて順調に成果を上げている。今後は、当初の提案にある光反応、電極反応、気液反応への展開や材料合成にも、研究が展開されていくことを期待する。</p>		